

2012年7月25日

写真プラットフォームサービス開発ベンチャーへの投資を決定

株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）（東京都千代田区、代表取締役社長 能見公一）は、写真関連サービス guPix（以下「guPix」）などを運営するリプレックス株式会社（以下「Ripplex」）（東京都渋谷区、代表取締役 直野 典彦）からの第三者割当増資の引受を決定し、総額7億円の投資枠の内、約4億円の投資を実行しました。尚、Ripplex は、INCJ に対する今回の増資とあわせて、リード・キャピタル・マネージメント株式会社（東京都千代田区：代表取締役社長 谷本徹）と株式会社環境エネルギー投資（東京都品川区：代表取締役 河村修一郎）の双方に対して、それぞれ5,000万円、合計1億円の第三者割当増資も行う予定です。

本件の概要については、「別添1」のとおりです。

世界の写真関連市場はスマートフォンの急速な普及と、これに付随する多くの写真関連アプリケーションの登場に伴い、従来のデジタルカメラ、PC を中心とした撮影、利用から大きく変化してきております。

7月4日にRipplexが提供を開始した写真プラットフォームサービス「guPix™」(ゲーピックス)は、パソコン、スマートフォン、メモ리카ード、クラウドストレージなどに分散したすべての写真を全自動で同期し、利用者にパソコン、スマートフォンやタブレットなどの手持ちのすべての端末からの、すべての写真の閲覧および利用を可能とする革新的なソフトウェア・アプリです。現在協議中の国内外のデジタルカメラ、携帯電話などの各種機器メーカー、携帯電話事業者などとの協業を通じ世界各地でのユーザー獲得を目指します。

Ripplex の主要経営メンバーは、NASDAQ 上場企業の本社副社長を歴任した代表の直野氏をはじめとして、グローバルでのビジネス経験を豊富に有しております。2006年に創業された後、総合ウェブ年賀状サービス「ウェブポ」をはじめとしたプラットフォーム型のインターネットサービスの開発、運営を行ってきました。

INCJ は、「guPix」の継続的開発及びサービス運営の必要資金を供給するとともに、社外取締役の派遣、開発協力体制の構築等の経営面でのサポートを行います。

また、開発協力体制の構築の一環として、シリコンバレーや東京にオフィスを持つデザインとイノベーションにおける有力デザインコンサルティングファームである

IDEO 社等の外部エキスパートとの協業を支援し、グローバルで受け入れられるサービス開発を推進していきます。

INCJとしては、本件投資により、①急速に構造変化が進む CE(Consumer Electronics)分野において現時点で趨勢が確定されていない静止画・動画の領域で、"Global Platform" (世界中でユーザーに幅広く使われる基盤的サービス)を狙える可能性の追求、②主として米国企業の独占しているネットサービス分野で、日本語・日本市場の域を出られず"Global Platform 構築競争"から取り残されている、という国内の主要インターネット企業が直面している現状の打破、③国内 VC 業界が構造的に抱えている資金制約面での課題に対し、「立上に十分な必要資金の支援」を通じての対象会社の飛躍的な成長の実現、を企図しています。

リプレックス社について

商号	リプレックス株式会社 (Ripplex Inc.)
設立	2006 年 3 月
事業内容	ソフトウェアの研究・開発/電子商取引を利用した商品及びサービスの販売
本社所在地	東京都渋谷区神宮前 1-21-1 原宿グリーンランド 203
代表者	直野 典彦
URL	http://www.ripplex.com/

株式会社産業革新機構 (INCJ) について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJ では、これまでに合計 26 件・総額約 4,000 億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスや IT の分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

Cross Pacific Innovation Network Initiative (CPIN) について

米 Kauffman Fellows Program (KFP) は、ベンチャーキャピタル業界の次世代リー

ダーを養成することを目的とした実践的な教育・研修プログラムであり、1994年に米国連邦政府認可の大学院レベルの教育を担う機関として米 Kauffman 財団よりスピン・アウトした非営利法人 CVE (The Center for Venture Education) により運営されています。1994年から15年間で20ヶ国から約500名の投資家、起業家、教育者、政府関係者等に携わる卒業生を輩出しています。

INCJとKFPは、将来有望な事業シーズに対して、日米が連携して事業展開支援を行うプラットフォームの構築を通じて、太平洋を越えてグローバルレベルのイノベーションが自律的に生まれるエコシステムの育成に向けたコンソーシアム「Cross Pacific Innovation Network Initiative (以下「CPIN」)」を設立することに合意し、2010年7月に合意書を締結しました。CPINでは、シーズの事業化、有望事業分野についての情報交換機能、人材支援・マッチングに係る事業を実施しています。

IDEO社との協業は、このCPINとの協カプロジェクトになります。

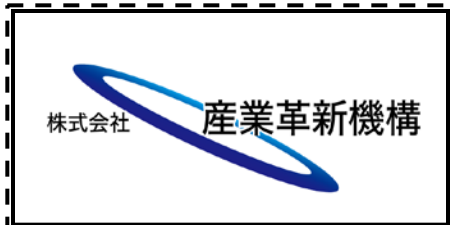
(本発表資料のお問い合わせ先)

(株) 産業革新機構 企画調整室 小林・檜山・望月・松島
東京都千代田区丸の内1-6-5
丸の内北口ビル21・22階
電話：03-5218-7200 (大代表)

<別添1>

写真プラットフォームサービス開発ベンチャーへの投資を決定

投資対象： リプレックス株式会社
 事業内容： スマートフォン、デジタルカメラ、PCなどと連動した写真関連サービスなどのWebサービスの開発
 投資金額： 上限7億円



(エキスパート)

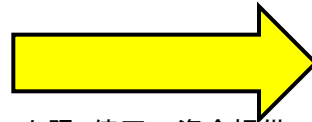
- Web事業、UI(User Interface)/UX(User Experience)、経営の知見を有する国内外有識者

(投資家)

- 民間VC

(事業パートナー)

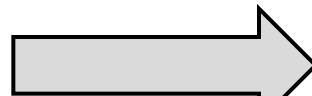
- 国内外各種機器メーカー
- 国内外通信事業者
- 国内外クラウドサービス事業者など



- 上限7億円の資金提供
- 社外取締役派遣
- 各種経営サポートなど



- 外部知見活用 (IDEO*, その他有識者)



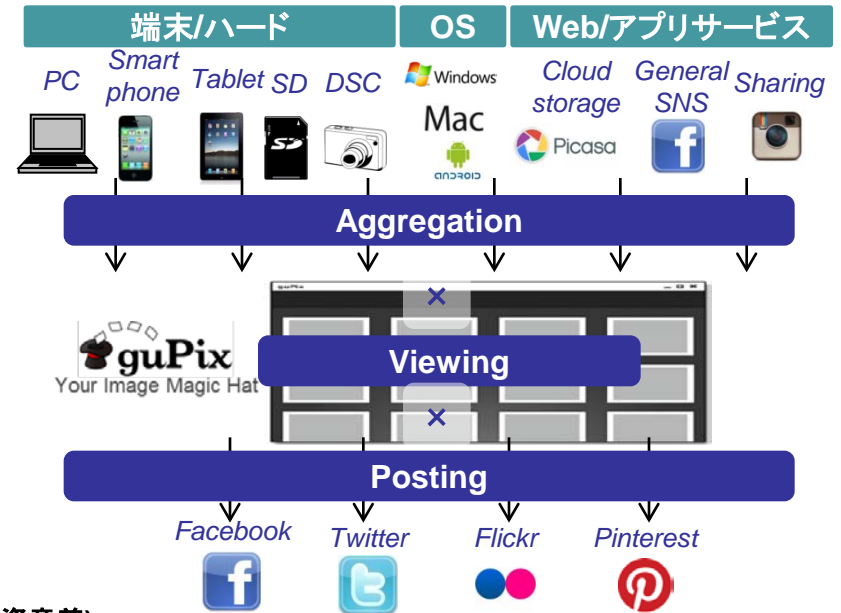
- 投資



- 事業連携議論中

(サービス概要)

- 全ての写真データを自動的に集約できる (Aggregation)
- 集約した写真を、全ての機器/Webサービスで Viewing および Posting



(投資意義)

- 趨勢が確定していない静止画・動画の領域でプラットフォームビジネスを狙える投資可能性
- 主に米国企業の独占しているネットサービス分野で、日本語、日本市場に留まらずグローバルに展開を志向
- 現行の国内VC環境では調達困難な資金制約を外す

* **IDEO** シリコンバレーや東京にオフィスを持つデザインとイノベーションにおける有カコンサルティングファーム